



奨学生レポート

ご支援のおかげで中学卒業、今は高校一年生。これからも一生懸命頑張って恩返ししたい。



名前:パーナット・クライカップカム **ニックネーム:**ナット
年齢:16歳 **学校:**ウドンタニー県のノンウアソーピッタヤークム高校の理数コースの1年生 **将来の夢:**会計士

EDFは2015年に中学校進学のため、奨学金を申し込んだ小学校6年生のパーナットさん(当時12歳)の話をダルニーフォーラム第17号(2015年3月)で紹介しました。彼は運よく中学1年から3年までの3年分の奨学金を受け取るようになりました。又、2018年には高校1年生分の奨学金も貰えることとなりました。

どのような困難な家庭状況の中でも、彼はそのことを理由に、学習や日常生活をおろそかにすることはありませんでした。そして、奨学金という特別な支援を受けることになり、その喜びに、彼は一層努力し、学校では優等生として頑張り、家に帰っては両親の仕事を手伝っていました。

先日、タイの日刊新聞「タイ・ラット」から、EDFに対し、パーナットさんにインタビューし、ウェブサイトに掲載することを連絡してきました。今回、皆さんに紹介させていただきたいと思います。内容は、次のようなものです。

特別な勉強はしてないが頭が良い。学校で1番である。

勉強がよくでき、小学2年生から中学1年生まで全科目でオール4でした。中学校での成績はすべて3.83以上、また最終成績は3.95でした。

ベテラン教諭であり、EDF奨学金の担当教諭であるチャンデー先生からナットさんについて次のように報告がありました。

「彼は素晴らしいです。他の生徒と同じように生活し、貧困に卑屈になる事はありません。性格が良く、礼儀正しく、賢く、勤勉で、勉学に励んでいます。授業はきちんと出席しています。時間を工面しては宿題を済ませ、誰かに手伝ってもらう事はありません。放課後は牧場で仕事をしています。この年頃の子供は大抵、このような仕事をする必要はないはずですが、恥ずかしいと思ったり、勇気がなかったり、裕福なため働く必要のない子供もいます。彼の様な強い意思の子はいません。数学が得意で、計算がとても早く、頭が良いです。特別な勉強はしてないのに学校で1番の成績です。様々な科目の大会の代表に選出され、特に数学の大会では毎回優勝です。」とチャンデー先生は彼を誉めます。

放課後の空き時間と土日は、サウキビの収穫、芝刈り、精米、もち米を蒸すための籠編み、乳牛の牧場での仕事で収入を得ている。

放課後は夕方6時まで、土日は朝5時から仕事をして家計の足しにしています。ナットさんは両親、兄と粗末な高床式の家に暮らしています。両親は古いバイクに乗り、サウキビ、芋やキャッサバの収穫などの日雇いの仕事に行きます。兄は学校を中退し、両親と同じ日雇いの仕事の働き手になっています。

「放課後、帰宅したら制服の洗濯を済ませ、夕方4時半から6時まで牛乳の配達に行きます。仕事が多い時は100パーツ、少ない時は50パーツになります。土日は朝5時から餌やり、搾乳、牛乳の配達、芝刈り、精米の仕事をして150~200パーツになります。稼いだお金は母に貯めてもらいます。」とナットさんは言いました。

両親の教えに従い、仕事をする。そして貯めたお金で学用品を購入する。

ナットさんは心から感謝する両親の教えを忠実に守ろうとしています。

「本、カバン、学用品やスポーツ用品も。欲しい物がある時は自分で仕事をして、貯金したお金で買う。これが両親の教えです。」とナットさんが実行している両親の教えについて話しました。

通学方法はと言うと、小学生の時は片道1キロほどを徒歩で通学していました。高校1年生の現在は、近所の友達のバイクに同乗させてもらって通学しています。

「自分の運命を不満に思う事はないか」記者は質問しました。「運命を不満に思った事はないです。僕より貧しい人もいますから。自分がやらなければ誰もやってくれません。貧しさに負けなかったら頑張っていける」と疲れた体を励ますように言いました。

会計士という夢に向かって頑張っているナットさんは、地方に住む貧しい子供の努力の一例です。ナットさんの強い意志は最も重要ですが、もしも2015年から支給されているEDF財団からの奨学金が無かったら、ナットさんの希望は絶たれ、将来の夢を持つ機会がなかったかもしれません。

2018年度の実績報告

2018年度(2017年6月1日から2018年5月31日)は、タイの子どもたちへの教育機会提供支援に関し、皆様より様々な面で大変お世話になり、どうもありがとうございました。2018年度募金活動の実績は、残念ながら、昨年度と比べかなり減少し、7,545人分(昨年度8,781人分)でした。EDFでは2018年7月に、各対象学校への奨学金の振込みを完了しました。奨学生証書などは今回同封しましたので、写真でご自分の支援しておられる子どもたちの成長ぶりをご覧戴きたいと存じます。

募金箱の報告について

2018年度に募金箱設置に関し、たくさんの新しい企業、団体、レストランよりご協力を戴きました。下記のリストの通り、受付カウンター、レジなど様々な場所にEDFのパンフレットと募金箱を設置戴きました。



1. Taiho Thailand Co.,Ltd. (Navanakhorn 工業団地、Pathumthani)
2. クラブタイランドタニヤプラザ店 (Bangkok)
3. 無印良品・セントラルエンバシー店 (Bangkok)
4. 無印良品・サイヤムディスカバリー店 (Bangkok)
5. 無印良品・ファッションアイランド店 (Bangkok)
6. 無印良品・ウェストゲート店(Nonthaburi)
7. フォード・モーター・サービスセンター・バーンブアトーン支店(Nonthaburi)
8. Idea Hostel Soi Suanplu (Bangkok)
9. Fly Flow Studio Fitness Center (Loei)
10. G'Zoxカーコーティングセンター・ラマ3支店(Bangkok)
11. G'Zoxカーコーティングセンター・ヌアンチャン通り支店(Bangkok)
12. Suansirin タイレストラン・ワチャラボン通り(Bangkok)
13. KT-Bike自転車センター・ウィパーワディーランシット通り(Bangkok)
14. The Charm Boutique Resort (Khonkaen)
15. The Beach 写真屋 (Buayai, Nakhon Ratchasima)
16. BigCスーパー・ウォンサワーン支店(Bangkok)
17. Baan Hom Kafae 喫茶店・バンコクラチャモンコン大学支店(Bangkok)
18. ミンミン漢方医学クリニック(Nonthaburi)
19. 言語支援センター・メーホンソーンコミュニティーカレッジ (Maehongson)
20. 魚ふく日本料理店タニヤ通り(Bangkok)

上記リスト分も含め、すべての募金箱から今年度いただきましたご寄付金額は643,227.25バーツに達しました。これで約107名の子どもに奨学金を届けることができました。1バーツのコインでも多くの方々からのご参加で、子どもたちの未来に大きな変化をもたらすことが出来ます。EDFでは、募金箱を設置して戴ける場所を募集しております。カウンターに置くサイズは写真の通り用意しております。設置して戴ける場所のご紹介は、自薦他薦を問わず public@edfthai.org までご連絡戴きたく存じます。皆様方からの暖かいご協力をお待ちしております。

活動報告



2018年6月22-27日
大瀬戸嵩(サクソフォン)、千嶋里志(エレキギター)の2人で構成するミュージックバンド大瀬戸千嶋は、クラブタイランドのご協力を得てタイ国の中・高学校で子供たちへ音楽を届けるチャリティーコンサートを開催しました。今回の

コンサートはEDF奨学金を対象としている学校(コーケン県のバーンヒンラードワントー校とバーンパイ校、ナコーンラーチャーシーマー県のノンマック校)で開催しました。コンサート公演の前、EDFタイの事務局を訪問し、2019年度の子供たちへの奨学金をご寄付頂きました。又、EDFタイのスタッフ全員で集合写真を撮影しました。



2018年6月15日
Toshiba Hokuto Electronic Devices (Thailand) Co.,Ltd.の代表者より、社内の食堂に設置しているEDFの募金箱の募金総額6,553バーツをダルニー奨学金にご寄付頂きました。今回のご寄付は2008年開始以来10年となり、累計114,851.75の金額になりました。